

令和4年1月4日発行

あかるく やわらかく やさしく
社会福祉法人 隆明会
デイサービスセンター ふる里

長崎県 大村市 亀橋町 1416番地
TEL (0957) 27-4500
FAX (0957) 27-4501

HP検索：[デイサービスセンターふる里](#)



ふる里からの 「ふくろうだより」 1月号

今年の指針
“常に”

“常(つね)に”

“新年明けましておめでとうございます” コロナウィルスが何とか終息し始めようとして外出の機会が出来そうになっていた頃、11月下旬に初めて報告され、瞬く間に世界40か国以上に広がった新型コロナウイルスの新たな変異ウイルス「オミクロン株」が流行し始めました。流行が広がり、最近では、市中感染も出てきています。不安な世の中が続いています。昨年のお正月のおたよりにも書きましたが、『三密』と『消毒』と『マスク』を徹底することしかできないように思います。昨年と違っているのは、コロナウィルスに対する“ワクチン”が製造されて提供されるところまで来ました。いつでも、どこでも、常に人々が交流し充実した生活ができることを願うばかりです。

さて、令和4年(西暦2022年)の干支**壬寅(みずのえ とら)**の年を迎えました。“壬寅”は「陽気を孕(はら)み、春の胎動を助(たす)く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になる”ということらしいです。昨年は、丑年で「先を急がず目のことを着実に進める事が将来の成功に繋がっていく」ということを旨に刻み込んでふる里の営みを行ってきたつもりですが、私自身、結果を急ぎすぎた感がありました。家族や職員に迷惑をかけてばかりだったようです。今年は、“心機一転”今の厳しい現実に真正面から向かい実直に職員、家族、周りの方々など人が喜ぶために生きていこうと思っています。そこで、職員、家族、周りの方々など人が喜ぶために私は、今年の指針をこの言葉に託し実践していこうと思います。

今年の言葉、指針は、“常(つね)に”です。皆さんご承知のように、いつでも、どんな時でも、変わらずに、といった意味ですが、日常生活を送っていると、平穏な生活の中で喜び事、楽しい事ばかりが永遠に続けばよろしいのですが、突然悲しみや別れ、怒りというものが襲ってきます。私だけでなく皆さんもそうでしょう。そこで私は、日々私を支えている『命(いのち)』を大切にしようと思いました。私の『命(いのち)』を大切にすることは、私を取り巻く人たちの『命(いのち)』を大切にすることです。“人の表情は、私の心の鏡”と思い、“常(つね)に”その方が素敵表情をされるような私になりたいと思います。実践の姿は、『常に喜び、常に笑い、常に楽しく』です。このような私の姿が、家族に、職員に、周りの方々に広がっていき、みんなが幸せになるよう努力していきたいと思っています。

今年も、皆様の期待に応えられるよう。職員と共に、常に輝く“ふる里”を築き上げていこうと思います。今年もよろしくお祈りします。
センター長 森 隆敏

12月行事



12月行事は、毎年恒例の餅つき大会。今回は、「餅つき忘年会」と題し23日、24日、25日の3日間で開催しました。まずは昼食で忘年会を行い、ガラナジュースで利用者の方に代表で音頭を取ってもらい乾杯をしました。各テーブルには、土鍋が置かれ1日目は『醤油とんこつ鍋』、2日目は『味噌鍋』、3日目は『すき焼き鍋』でした。どの鍋もとても美味しく利用者の方々もたくさん食べられていました。中にはおかわりをする方もおられ、お腹いっぱいになり満足されていました。そして午後から餅つき大会を行いました。隆明会の厨房職員である遠岳さん家のお米を使用し、「おっこね♪おっこね♪おっこねて♪」のリズムに合わせて男性職員やお手伝いに来てくださった方々と力強くこねました。その後「ぺったん♪ぺったん♪」と餅をつき、利用者の方々にもついてもらいました。きちんと剥けているかの確認は利用者の方にみてもらいました。つきあがった餅は利用者の方々にも丸めてもらいました。皆さんとても手際が良く、「昔を思い出した。」や「賑やかでとても楽しかった。」などたくさん声が聞かれました。出来上がった餅は、お土産に白餅とよもぎ餅を持って帰っていただきました。最終日には鏡餅も作り新年を迎えるために相応しいとても盛り上がった行事となりました。





餅つき大会のフィナーレは、聖歌隊による歌のプレゼントを行いました。今年はハンドベル演奏も行いました。歌は合唱曲を中心とした物で、皆でうまくハモれるように練習しました。本番ではよく声が出ていてすごかったと好評でした。ハンドベル演奏は、「きよしこの夜」と「きらきら星」の二曲を演奏しました。演奏中に利用者の方々が歌詞を口ずさまれたり、手拍手をされて下さったりでとても嬉しかったです。成功裡に終わりました。

行事担当 中邑典子、三岳由弥

行事食紹介♪



訪問ボランティア

16日(木)に「マーラブア様」による踊りの訪問がありました。華やかな衣装で女性らしいしなやかな踊りはうっとりさせてくれました。私たちもできるような簡単な振りの曲もしていただき楽しかったです。また、22日(水)には「おはなしの部屋」がありました。今回は、絵本と語り部の二つを読んでもらいました。今年一年ありがとうございました。



在宅介護支援センター ふる里

【在宅介護支援センターふる里】とは…

社会福祉法人として設立され運営している事業です。地域の身近な総合相談窓口として、福祉専門のソーシャルワーカーが安心生活のため様々な相談に応じます。また、地域の老人会や趣味サークルを中心とした団体等に介護予防教室、健康体操、レクリエーションの指導を行い、生活の安心と喜び、地域の活力が生み出されるように取り組んでおります。相談に関する手数料やご利用に係る料金は無料です。



お気軽に皆さまの地域の身近なパートナーとしてご利用下さい。

一月の行事予定

◆ふる里 1月行事 『新年会』
1月4日(火)・5日(水)・6日(木)

◆生花教室 ~齊藤マサミ先生~ 7日(金)・24日(月)

◆書道教室 ~中村 朱実 先生~ 10日(月)・27日(木)

◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~ 20日(木)

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ~中村壽美子先生~ 25日(火)

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後
(12日、19日、26日予定)



新年明けましておめでとうございます。去年一年を振り返ってみると、何事においてもコロナに影響された一年だったなあと感じます。オリンピックやアーティストのライブなど様々なイベントごとの無観客配信。時短営業や人数制限による蔓延防止措置等々、色々な政策が行われた印象です。大分落ち着いたように感じますが、先日沖縄では変異ウイルスの「オミクロン株」に感染した人が600人も出たとニュースで報道されており、また感染拡大しないために手洗いやうがい等の今までしてきたことを怠らないようにしようと改めて考えさせられました。どんな年になるかはまだ分かりませんが今年も一年よろしくお祈りします。

編集後記 三岳由弥